

令和4年4月1日
京都市立池田東小学校
校長 辻 佳英

令和4年度 学校教育方針

◆学校教育目標

「心豊かに、自ら学び 自ら考える子」の育成

*「心豊かに」

心の豊かさとは何によって育まれていくのでしょうか。言葉の捉え方は人それぞれだと思いますが、私は、それは心が震える体験と経験だと思うのです。何かにすごく感動したことは大人になっても覚えているでしょう。人を愛し、人から愛されることについても同様です。また、人と人がお互い違う考えを持ちながらも、ともに何かを成し遂げた時も、人は心震えるものだと思います。それらの前提にある心と身体の健康もまた、心の豊かさにつながる大切なものです。

*「自ら学び 自ら考える」

学び・考えることは、子どもたちが、学校で得ることのできる将来にわたって大事な力です。生涯、子どもたちが学び続け、様々なことに考えをめぐらすためには、学ぶ・考える力と同時に何が必要なのでしょうか。それは、自ら行動を起こす力だと思います。受け身だった自分から、より積極的な自分へ成長していく時、人はやりがいを感じるものです。それが自分らしい生き方にもつながっていくものだと考えます。

◇本年度の重点

(1)授業づくりを中心とした研究・研修

子どもたちが主体的に学び合う授業づくりを通して、自ら学ぶ態度と伝え合う力を育てる

(2)積極的な生徒指導

自己指導能力の育成と一人一人の子どもの自己有用感を高める取組を進める

(3)人権教育(総合育成支援教育)の取組の充実

整理された(授業)環境づくりを通して、子どもたちが「自らできた」経験を増やしていく

(4)家庭学習の充実

家庭学習の手引きの活用と、ノート指導・評価を年間通して繰り返し実施する

◇めざす子ども像

「仲間とともに楽しく学ぶ子」
「おもいを伝え合う子」
「心と身体を大事にする子」

◇つけたい力

「自分のことばで伝える力」
「相手の話を聞く力」
「自分で考え行動する力」

◇具体的な行動場面

ことば 授業 そうじ

ことば…あいさつ, ありがとう, ことば使い
授業…めあて, 伝え合い, ふりかえり
そうじ…もくもく, みつけ, たてわり

◇開かれた学校づくり

取組のみえる化を図り, つながりを創造する

保護者・地域の方との関わり
地域資源(人, 施設など)の再開発
学校運営協議会の充実
保・幼・小・中の連携